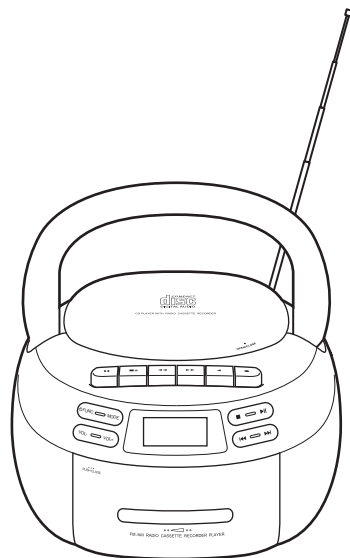


CDラジカセ

品番: EA-CRCA

取扱説明書

■ 安全上のご注意.....	2
■ ディスクについて	6
■ カセットテープについて	7
■ 各部のなまえ	8
■ 付属品	9
■ 使いかた.....	10
電源コードを接続する	10
乾電池で使う.....	10
電源を入れる／切る	12
モードを切り替える	12
音量を調節する	12
イヤホンを使用する	12
オーディオCDを再生する	13
FM/AM ラジオを聴く	16
外部機器を使用する	18
カセットテープを再生する	19
カセットテープに録音する	20
■ お手入れのしかた	22
■ 困ったときは	23
■ おもな仕様.....	25
■ 免責事項.....	25
■ 保証書	26
保証規定	27
■ アフターサービス	28



はじめにお読みください


このたびは弊社の製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
 ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、内容を十分理解されたうえで、正しくご使用ください。
 お読みになったあとは、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。


安全上のご注意

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、内容を十分理解されたうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。




絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくご使用いただき、お使いになる人やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。





	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
--	-----------	--


	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
--	-----------	--

絵表示の例

	注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。		禁止の行為であることを告げるものです。		行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
--	------------------------------	---	---------------------	---	-------------------------












一般的な注意事項

 警告	
 電源プラグを抜く	<p>異常・故障時には直ちに使用を中止する</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源プラグや電源コードが異常に熱い。 電源プラグや電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 異臭や異音がする。 煙が出ている。 本体が変形したり、異常に熱くなる。 <p>火災・感電の原因になります。このようなときはすぐに電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社お客様サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。</p>
 分解禁止	<p>機器を分解しない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>
 分解禁止	<p>お客様自身による修理・改造はしない</p> <p>感電の原因になります。本製品の点検・修理は販売店または弊社お客様サポートセンターにご依頼ください。</p>

 注意	
 禁止	<p>本書に記載以外の用途や方法で使用しない</p> <p>けがや事故の原因になります。</p>
 禁止	<p>業務用として使用しない</p> <p>本製品は一般家庭における屋内での使用を想定した製品です。業務使用や屋外では絶対に使用しないでください。</p>
 禁止	<p>屋外や直射日光が当たる場所で使用しない</p> <p>火災・故障の原因になります。</p>

安全上のご注意(つづき)

電源プラグ・電源コードについて

 警告	
 禁止	電源プラグ・電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない 火災・感電の原因になります。
 禁止	表示された電源電圧、交流 100V 以外の電圧で使用しない 火災・感電の原因になります。
 必ず守る	電源プラグは定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する たこ足配線をするるとコンセント部分が異常過熱して火災・感電の原因になります。
 禁止	電源プラグ・電源コードをキズつけたり、破損させない また、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりしない コードが破損し、火災・感電の原因になります。
 使用禁止	電源プラグ・電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店または弊社お客様サポートセンターに交換を依頼する そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
 必ず守る	電源プラグは奥まで確実に差し込み、固定されていることを確認する 火災・感電の原因になります。
 禁止	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く 感電・破損の原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 火災・感電の原因になります。
 禁止	電源コードを発熱器具に近づけない コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。
 禁止	たこ足配線をしない 火災・感電の原因になります。











 警告	
 必ず守る	電源プラグのホコリや汚れは、定期的に乾いた布で拭き取る ホコリなどが付着するとショート・火災の原因になります。
 禁止	電源コードを束ねた状態で使用しない コードが破損し、火災・感電の原因になります。
 禁止	付属の電源コード以外を使用しない またほかの機器に転用しない 故障、火災、感電の原因になります。
 必ず守る	電源プラグは見える位置で手が届く範囲のコンセントに接続する 万一の場合、電源プラグをコンセントからすぐに抜けるようにしてください。










使用方法について




 警告	
 電源プラグを抜く	万一、機器を落としたりして破損した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。販売店または弊社お客様サポートセンターにご連絡ください。
 電源プラグを抜く	万一、水や異物が機器内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると火災・感電の原因になります。販売店または弊社お客様サポートセンターにご連絡ください。
 禁止	機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因になります。
 接触禁止	雷が鳴りだしたら、FM アンテナや電源プラグに触れない 感電の原因になります。
 電源プラグを抜く	使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 火災や発火の原因になります。
 禁止	本製品の上に火のついたろうそくなどの裸火を置かない 火災の原因になります。

安全上のご注意 (つづき)

使用方法について (つづき)




 警告	
 必ず守る	<p>本製品を持ち運ぶときは必ず下記を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源を切る ・FMアンテナを縮め、もとの位置に戻す ・接続しているケーブルを外す ・電源プラグをコンセントから抜く <p>破損・故障・火災・感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>本製品に乗らない</p> <p>倒れたり、壊れたりしてけがの原因になります。とくに小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>
 禁止	<p>本体を落したり、振動を与えない</p> <p>故障・火災・破損の原因になります。</p>
 禁止	<p>次のような使いかたはしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本体を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む。 ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。 <p>火災の原因になります。本体の周囲は10cm以上のスペースを確保してください。</p>
 必ず守る	<p>硬く水平な台の上や振動が伝わりにくい場所で使用する</p> <p>CDセンサーは非常に精密にできているため、薄い板や畳の上など振動が伝わりやすい場所で使用すると、音飛び(再生音が途切れる)します。</p>
 必ず守る	<p>使用する前に必ず音量を最小にする</p> <p>はじめから音量を上げすぎると突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。とくにイヤホンを使用する際は注意してください。</p>
 禁止	<p>大きな音量で長時間聴かない</p> <p>耳を刺激するような大きな音量で長時間聴き続けると、聴力障害の原因になります。</p>
 禁止	<p>歪んだ音で使用しない</p> <p>スピーカーが発熱し、火災や故障の原因になります。</p>
 禁止	<p>レーザー光源をのそき込まない</p> <p>視力障害を起こす場合があります。</p>

 警告	
 禁止	<p>ひび・そり・ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しない</p> <p>故障の原因になります。</p>
 禁止	<p>CD再生中に振動やショックを与えない</p> <p>CDセンサーは非常に精密にできているため、音飛び(再生音が途切れる)します。</p>
 禁止	<p>キズや指紋、ホコリがついているCDを使用しない</p> <p>表示部に“”と表示されたまま再生できない場合があります。</p>
 禁止	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない</p> <p>落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。</p>
 水ぬれ禁止	<p>水まわりや風呂場など水のかかる場所では絶対に使用しない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>
 水ぬれ禁止	<p>本体や電源プラグ、電源コードを水に浸けたり、水をかけたりしない</p> <p>ショート・感電・火災・故障の原因になります。</p>
 禁止	<p>子どもだけで使用したり、手の届く所で使用しない</p> <p>感電・けがの原因になります。</p>











 注意	
 禁止	<p>直射日光の当たる所や自動車内、発熱器具の近くなど高温になる所に設置しない</p> <p>機器に障害を与え、火災・感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>湿気やホコリの多い場所に置かない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>

安全上のご注意(つづき)

お手入れ・保管について

 警告	
 電源プラグを抜く	<p>お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなう</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>お手入れの際、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤(シンナー・ベンジンなど)、みがき粉、金属たわしなどは使用しない</p> <p>変形・変色・キズなどの原因になります。</p>

電池の取り扱いについて

 警告	
 禁止	<p>指定以外の電池を使用しない</p> <p>液漏れ・発熱・発火・破裂などの原因になります。</p>
 禁止	<p>加熱・分解・改造をしたり水などの液体や火の中に入れてない</p> <p>液漏れ・発熱・発火・破裂などの原因になります。</p>
 禁止	<p>火のそばや直射日光の当たる所など高温になる場所での使用や保管、放置はしない</p> <p>液漏れ・発熱・発火・破裂などの原因になります。</p>
 禁止	<p>液漏れした場合は素手で触れない</p> <p>失明や皮膚の炎症などの原因になります。液が目や皮膚についたときはすぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の診察・治療を受けてください。</p>
 禁止	<p>種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない</p> <p>液漏れ・発熱・発火・破裂などの原因になります。</p>
 必ず守る	<p>電池は子どもの手の届かない所に置く</p> <p>誤飲のおそれがあります。万一、飲み込んだときは直ちに医師に相談してください。</p>
 必ず守る	<p>長期間使用しないときは電池を取り出す</p> <p>液漏れ・発熱・発火・破裂などの原因になります。</p>
 必ず守る	<p>極性(⊕, ⊖)を間違えないように正しく入れる</p> <p>液漏れ・発熱・発火・破裂などの原因になります。</p>
 必ず守る	<p>電池を廃棄する際は各地方自治体の条例に従う</p> <p>条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。</p>

ディスクについて

本機で再生できるディスク

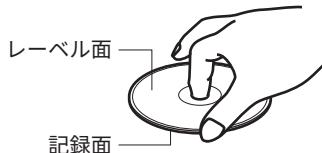
- CDはディスクに下記のマークの入ったものをご使用ください。
(ご自身で書き込んだ音楽データCD-R/
RWディスクを除く)



- コピーコントロールCD (CCCD)の再生保証はできません。
- 記録状態の悪い場合や作成方法によっては再生できないことがあります。
- パソコンで編集した音楽CDは再生できません。
- 本機はMP3方式の再生には対応していません。

ディスク取り扱い上のご注意

- 記録面に触れないように持ってください。



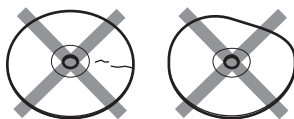
- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、放射状に軽く拭き取ってください。



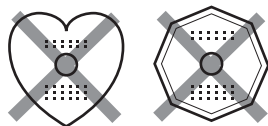
- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですので絶対に使用しないでください。
- 記録面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



- ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。



- ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。



温度の変化によりディスクに水滴が付いたとき

使う前に、やわらかい布などで、必ず放射状に軽く拭き取ってください。水分が完全に乾いてからお使いください。

ディスクの保管

- 下記のような場所には保管しないでください。ディスクが使えなくなることがあります。
 - ・ 直射日光が当たる場所
 - ・ 湿気やホコリのある場所
 - ・ ヒーターの近くなど熱気や熱風の当たる場所、温度や湿度の高い所
- 使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



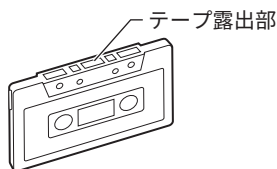
カセットテープについて

再生できるカセットの種類

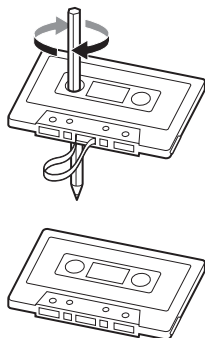
- ノーマルテープ (TYPE1) のみが使用可能です。
- 往復 100 分以上の長時間のカセットテープは変形しやすく、また伸びやすいため、テープのからみや、切れの原因になります。本機では使用しないでください。往復 90 分以下のカセットテープでノーマルタイプをご使用ください。
- エンドレステープは本機ではご使用になれません。

カセットテープの入れかた

- テープのたるみが無いかどうか確認してください。
- カセットテープを入れるときはテープの霧出面を上にし、聴きたい面 (A面またはB面) を手前にして入れてください。

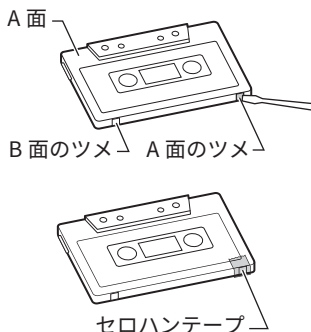


- テープのたるみはテープの巻き付きや、切断の原因になります。テープがたるんでいないかどうか確かめ、たるんでいる場合は図のように鉛筆などで直してからご使用ください。



大切な録音を消さないために

- 保存しておきたい場合には、カセットテープのうしろ側にある“ツメ”を折っておくと、誤って大切なテープを上書きせずにはすみます。また、再度録音したいときは、折ったツメの部分にセロハンテープなどを貼り付けてください。
- ツメを折ってあるカセットテープは録音ボタンの操作ができません。



リーダーテープについて

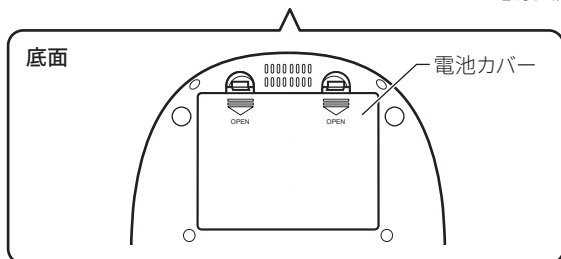
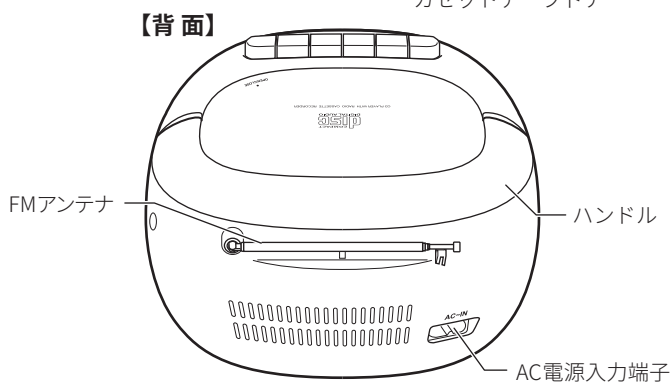
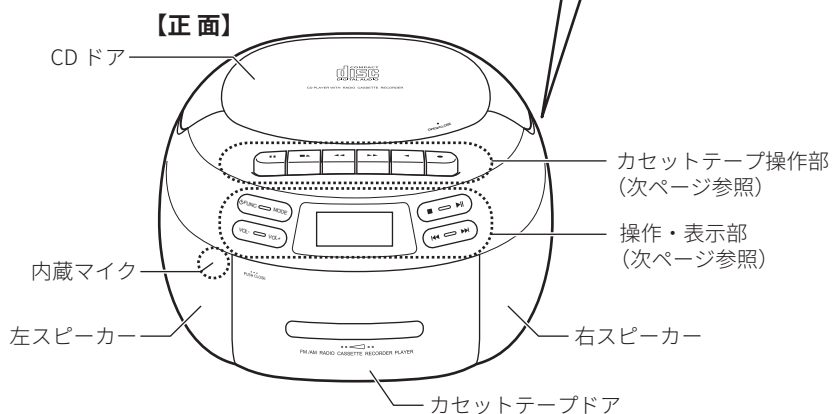
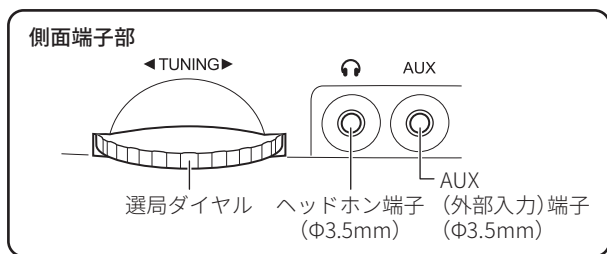
- カセットテープの両端のリーダーテープ部 (半透明部) には録音できません。録音の前にはこの部分を送ってください。

著作権について

あなた個人が録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上の権利者に無断で使用することはできません。

- **本機の故障、誤操作、不具合などによって発生した次にあげる損害などの付随的損害補償につきましては、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。**
 - ・ お客様または第三者がカセットテープへ記録された内容の損害。
 - ・ 録音、再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害。

各部のなまえ



使いかた

お知らせ

- ・ この製品は付属の電源コードを使って家庭用AC100V電源、または単2形乾電池6本で使える2電源方式です。

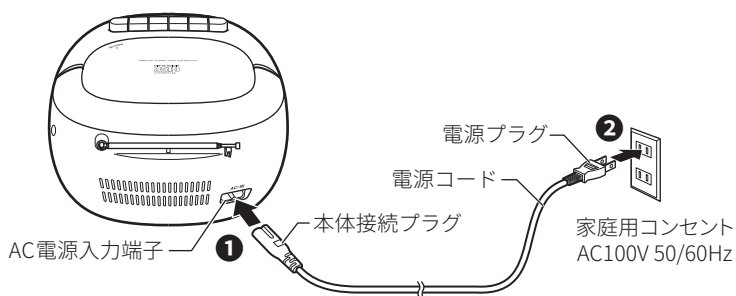
①ご注意

電源コードの誤った使いかたは、火災や感電、故障の原因になります。以下の点にご注意ください。

- ・ 付属の電源コード以外を使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- ・ 電源プラグはAC100V 50/60Hzのコンセントに接続してください。
- ・ ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードを接続する

電源コードの本体接続プラグを本体のAC電源入力端子に差し込み(①)、電源プラグをコンセントに差し込む(②)



乾電池で使う

①ご注意

乾電池の誤った使いかたは、液漏れや破裂の原因になります。以下の点にご注意ください。

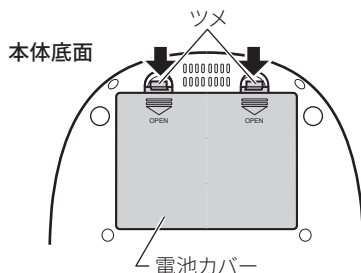
- ・ 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から取り出しておいてください。
- ・ 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。
- ・ 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 種類の異なる乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ マンガン乾電池は消耗が早いため、アルカリ乾電池をおすすめします。
- ・ 乾電池には充電式と充電式でないものがあります。乾電池の注意表示をよく見てご使用ください。充電式の乾電池は使用しないでください。
- ・ 乾電池は単2形乾電池を6本使用します。

使いかた(つづき)

電池の入れかた

1 電池カバーを外す

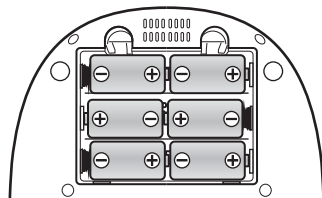
本体底面にある電池カバーのツメ(2か所)を押しながら、電池カバーを持ち上げて外します。



2 乾電池を入れる

単2形乾電池6本(別売品)をケース内の表示通りに入れます。

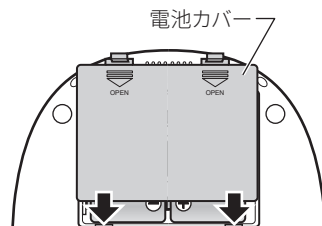
※ ⊕, ⊖の極性表示をよくお確かめのうえ、正しく入れてください。



3 電池カバーを閉じる

電池カバー下部のツメ(2か所)を本体の溝に差し込んでから、電池カバー上部をパチンと音がするまで押し込みます。

※ 電源コードが接続されている場合はAC電源が優先されます。
乾電池で使用する場合は電源コードを抜いてください。



使いかた(つづき)


電源を入れる／切る

電源を入れる

 を押す


表示部が点灯し、電源が「入」になります。

電源を切る

 を長押し(約2秒)する

表示部が消灯し、電源が「切」になります。

モードを切り替える

(電源「入」のとき)  を押す

押すたびに、下表の順番で切り替わります。
(⑤AMラジオの次は、①CDに戻ります。)

モード名	表示部
① CD	CD ---
② AUX (外部入力)	AUX
③ TAP (カセットテープ)	TAP
④ FMラジオ*	FM 88.8 MHz
⑤ AMラジオ	AM 888 KHz

* 選択すると、rAdが表示されたあと、周波数表示に切り替わります。

各モードについては13～21ページを参照してください。

音量を調節する

音量調節ボタン  を押す

押すたびに現在の音量が表示部に表示されます。
長押しをしても音量の調節ができます。

※ 音量レベルは0～30まであります。
(工場出荷時は音量レベル10)

※ 電源プラグをコンセントから抜く、または乾電池を取り出した場合、音量は初期値(10)に戻ります。

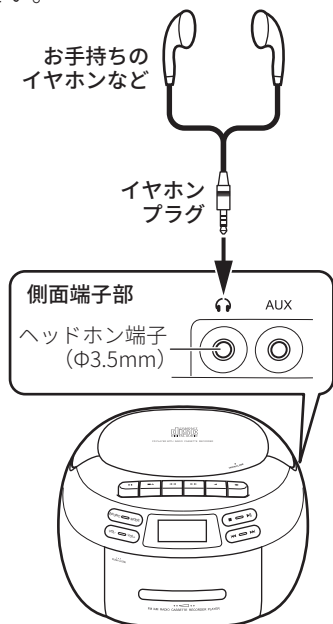
イヤホンを使用する

イヤホンプラグをヘッドホン端子に接続する

※ イヤホンプラグを接続する前に必ず音量を最小にしてください。

※ イヤホンプラグを接続すると、スピーカーからの音は出ません。

※ イヤホンを長時間使用しますと耳に悪影響を与えることがありますのでご注意ください。



使いかた(つづき)

オーディオCDを再生する

基本操作

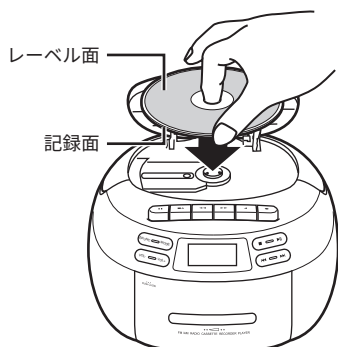
再生できるディスクについては「本機で再生できるディスク」(⇒6ページ)をご覧ください。

1 本機の電源を入れる

※「電源を入れる/切る」(⇒前ページ参照)

2 本体天面の OPEN/CLOSE を押して CD ドアを開き、ディスクをセットする

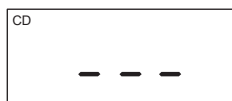
レーベル面を上にしてセットします。



※ 事前に「レンズ保護シート」を取り外してください。(お買い上げ後、最初に使うときのみ)

3 OPEN/CLOSE を押して CD ドアを閉じる

4 FUNC. を押して CD モードを選択する



※「モードを切り替える」(⇒前ページ参照)

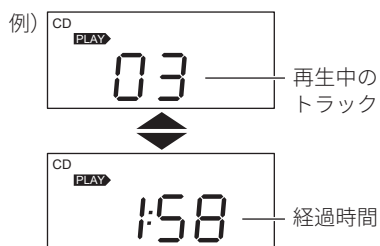
CDモード選択後、自動的に読み込みを開始し、総トラック(曲)数が表示されます。



※ CDがセットされていない場合「00」と表示されます。

5 >II を押して再生を開始する

再生がはじまり、再生中のトラック(曲)番号と経過時間が交互に表示されます。

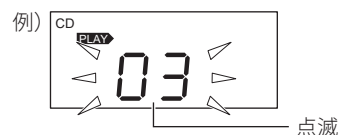


一時停止

(再生中または一時停止中に)

>II を押す

再生中に押すと一時停止します。一時停止中は表示が点滅します。



再び >II を押す

通常の再生に戻ります。

使いかた(つづき)

停止


(再生中または一時停止中に)




を押す

再生が停止します。
表示部に縦トラック数が表示されます。

再び  を押す

1トラック(曲)目から再生がはじまります。
※ CD再生中にモード切り替えし、再度モードを「CD」に切り替えた場合、 を押すと切り替え前に聴いていた曲から再生が開始されます。

スキップ次へ／前へ


(再生中に)  を押す

次のトラック(曲)に移動し再生をはじめます。



を押す

前のトラック(曲)に移動し再生をはじめます。

● 一時停止中または停止中に押した場合は  を押すと再生をはじめます。

早送り／早戻し

(再生中に)  を長押しする

早送りがはじまります。
ボタンを離すとそこから再生がはじまります。



早戻しがはじまります。
ボタンを離すとそこから再生がはじまります。

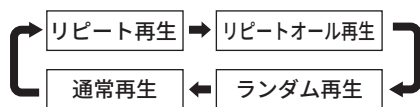
再生モード(リピート再生・ランダム再生)を選ぶ

(再生中または一時停止中に)



を押す

押すたびに下記のように再生モードを切り替えることができます。
選択したモードで再生されます。



● リピート再生

再生中のトラック(曲)がリピート再生されます



● リピートオール再生

すべてのトラック(曲)がリピート再生されます



● ランダム再生

CDに記録されているすべてのトラック(曲)をCD本来のトラック(曲)順とは違う順で再生します。



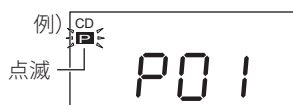
使いかた(つづき)

プログラム再生

トラック(曲)番号で再生順をプログラム登録し(最大20曲)、再生することができます。

1 (停止中に) を押す

“P”およびプログラム番号が表示され、プログラム設定画面になります。

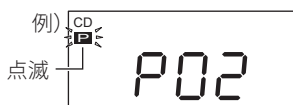


2 を押し、 トラック(曲)を選択する



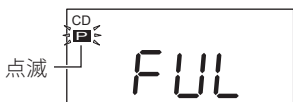
3 を押して決定する

トラック(曲)が登録され、プログラム番号が“P02”に変わります。



4 手順2～3を繰り返し、プログラムを登録する

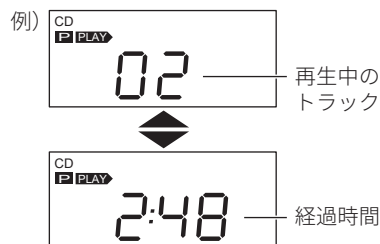
※ 最大まで登録すると下図の表示となります。



5 再生するには を押す

プログラムされた1番目のトラック(曲)から再生がはじまり、再生中のトラック(曲)番号と経過時間が交互に表示されます。

※プログラム再生中は、ランダム再生機能は使用できません。



すべてのプログラムされた曲の再生が終わると、ディスクが停止します。

プログラムの解除

下記の操作をおこなうとプログラムが解除されます。

● (再生中に)  を2回押す

● (停止中に)  を1回押す

● CDドアを開ける
(⇒ 13ページ参照)

● 電源を切る
(⇒ 12ページ参照)

● モードを切り替える
(⇒ 12ページ参照)

使いかた(つづき)

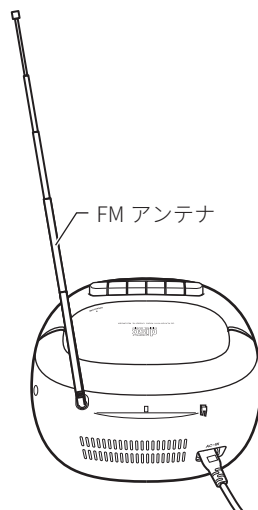
FM/AM ラジオを聴く

アンテナについて

●FM アンテナ

FM アンテナを伸ばす

本体背面にあるFMアンテナを伸ばし、最も受信状態の良い方向に角度を合わせます。



●AM アンテナ

本体を受信状態の良い場所および方向に置く

AMアンテナは本体に内蔵されています。
本体を最も受信状態の良い場所、方向に置きます。

お知らせ

ラジオを聴くときにうまく受信できなかつたり、雑音が入るときは、下記の点をご確認ください。

- ・ 近くで電波を発生する機器が作動していないことをご確認ください。
- ・ 地域によってはラジオ放送が入りにくい所があります。
- ・ 電波状態によりノイズや雑音が入る場合があります。アンテナや受信状態が良い場所に移動してください。
- ・ 受信周波数 FM : 76.0 ~ 108.0MHz (ワイドFM対応) AM : 522 ~ 1629KHz

ワイド FM とは

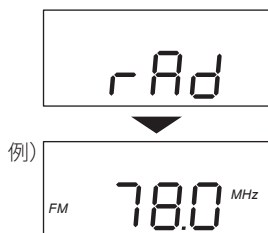
AM放送局の放送区域において、FMの周波数を用いてAM番組を放送することです。


基本操作

1 本機の電源を入れる
(→ 12 ページ参照)

2  を押す

FM 放送が選択されます。
(→ 12 ページ参照)



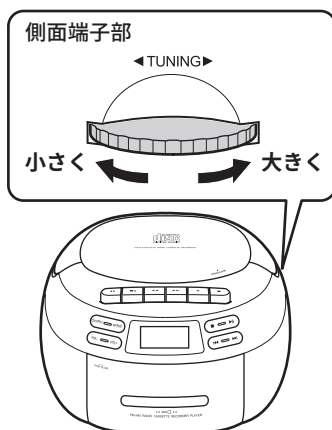
AM 放送を選択するときは、
再度  を押す

AM 放送が選択されます。



3 選局ダイヤルを回して、聴きたい放送局の周波数に合わせる

右方向に回すと周波数が大きくなり、
左方向に回すと小さくなります。



※ FM 放送の場合、ステレオ放送を受信すると“STEREO”が表示されます。



4 音量を調節する

使いかた(つづき)

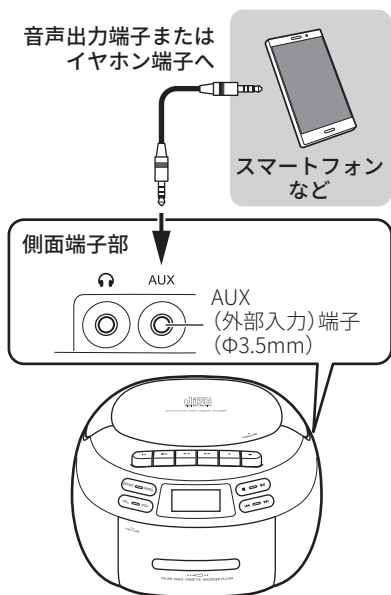
外部機器を使用する

- 本機に外部機器を接続したり取り外すときは、必ず本機および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
- 接続する外部機器によっては正常に動作しない場合があります。
- スマートフォンなどに接続するときは、カバーやケースなどを取り外して接続してください。プラグが根元まで差し込まれていないと、音が出なかったりノイズが入る場合があります。

お知らせ

- ・ 接続する外部機器によってはイヤホン端子に接続します。
- ・ 接続する外部機器の取扱説明書に従って接続してください。

3.5mm ステレオミニプラグケーブル(市販品)のプラグを外部機器の音声出力端子に接続してください。




基本操作

① ご注意

あらかじめ本機および外部機器の音量を小さくしてください。

1 本機および外部機器の電源を入れる
(→ 12 ページ参照)

2  を押して AUX モードを選択する
(→ 12 ページ参照)



3 外部機器の再生をはじめめる

4 音量を調節する

使いかた(つづき)

カセットテープを再生する

- 片面再生のみ可能です。
- オートリバース機能はありません。
- ノーマルテープ (TYPE1) のみが使用可能です。
- 往復 100 分以上の長時間のカセットテープは変形しやすく、また伸びやすいため、テープのからみや、切れの原因になります。本機では使用しないでください。往復 90 分以下のカセットテープでノーマルタイプをご使用ください。
- エンドレステープの録音・再生はできません。


①ご注意

カセットテープ自体の回転が重い場合はピンチローラーにテープがからむ場合がありますので次のようなときには使用しないでください。

- ・ カセットテープケースに歪みや変形がある場合。
- ・ 長年の使用でテープが劣化し、テープに波打ちや伸びがある場合。
- ・ 寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだためテープ全体が結露した場合。
- ・ テープがひどく汚れ、回転が重い場合。

基本操作

- 1** 本機の電源を入れる
(→ 12 ページ参照)

- 2**  を押してカセットテープモードを選択する
(→ 12 ページ参照)



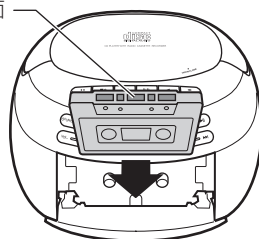
- 3**  を押す


カセットテープドアが開きます。

- 4** カセットテープを入れる

テープ露出面を上にし、聴きたい面を手前に向けてカセットテープを入れます。

テープ面



- 5**  を押して
カセットテープドアを閉める

- 6**  を押す

再生がはじまります。

停止

-  を押す

再生が停止します。

一時停止

-  を押す

一時停止します。

再生を再開するには再び  を押す

通常の再生に戻ります。

使いかた(つづき)

早送り／巻戻し


1  を押す



早送りがはじまります。


2 希望の所で  を押す

● 同様に  を押すと巻戻しをします。

① ご注意

※早送り／巻戻し中に  を押さないでください。テープが回転部に巻き込まれる原因になります。

必ず  を押してから  を押してください。

※早送り／巻戻し中にテープが最後まで巻き取られたら、 を押して解除してください。(早送り／巻戻し時は自動停止しません。)

カセットテープの取り出し

1  を押す

再生が停止します。

2 再び  を押す

カセットテープドアが開きます。

カセットテープに録音する



オーディオ CD / 外部機器からの録音

1  を押す


カセットテープドアが開きます。

2 カセットテープを入れる

テープ露出面を上にし、録音したい面を手前に向けてカセットテープを入れ、ドアを閉めます。

3  を押してから  を押す

※ 同時に  も下がります。

4  を押して CD または AUX モードを選択し、再生を開始する


(⇒ 13 ~ 15、または18ページ参照)




5 録音したい所で  を押す

録音が始まります。テープの端までいくと自動的に停止します。

● 録音レベルは自動で設定されます。(AUXの場合は接続した外部機器側で調節してください。)

※ 3、5の操作をせずに直接  ボタンを押しても録音は開始されます。

6 途中で止めたいときは  を押す

使いかた(つづき)

ラジオからの録音

1  を押す


カセットテープドアが開きます。

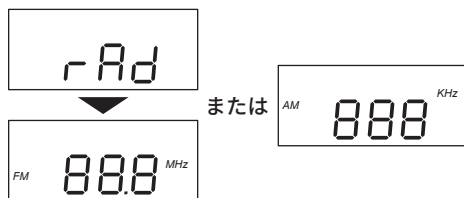
2 カセットテープを入れる

テープ露出面を上にし、録音したい面を手前に向けてカセットテープを入れ、ドアを閉めます。

3  を押してから  を押す

※ 同時に  も下がります。


4  を押してFMラジオまたはAMラジオを選択し、再生を開始する
(→ 16 ~ 17 ページ参照)



5 録音したい所で  を押す


録音が始まります。テープの端までいくと自動的に停止します。

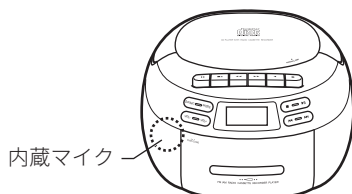
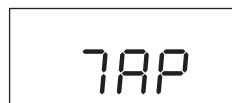
● 録音レベルは自動で設定されます。

※ 3、5の操作をせずに直接  ボタンを押しても録音は開始されます。

6 途中で止めたいときは  を押す

内蔵マイクからの録音

1  を押してカセットテープモードを選択する



2  を押す

カセットテープドアが開きます。


3 カセットテープを入れる
テープ露出面を上にし、録音したい面を手前に向けてカセットテープを入れ、ドアを閉めます。


4  を押してから  を押す

※ 同時に  も下がります。



5 録音したい所で  を押す



録音が始まります。テープの端までいくと自動的に停止します。

※ 4、5の操作をせずに直接  ボタンを押しても録音は開始されます。

6 途中で止めたいときは  を押す

お手入れのしかた

 警告	 水ぬれ 禁止	本体や電源プラグ・電源コードを水に浸けたり、水をかけたりしない ショート・感電・火災・故障の原因になります。
--	--	---

 注意	 電源プラグ を抜く	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなう 火災・感電の原因になります。
--	---	---

①ご注意	<ul style="list-style-type: none">お手入れの際、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジンなど）、みがき粉、金属たわしなどは使用しないでください。変形・変色・キズなどの原因になります。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
-------------	---

本体

ぬるま湯に浸して固く絞ったやわらかい布で拭いてください。
汚れがひどい場合は、食器用中性洗剤を薄めたぬるま湯に布を浸し、固く絞って拭き取ってください。
そのあと、乾いた布で水気を拭き取ります。

レンズ

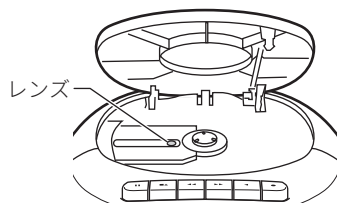
レンズの汚れが原因で音飛びが起きたり、再生ができなくなった場合にクリーニングしてください。
※クリーニングの前に、必ず電源を切ってください。

● ゴミやホコリがついた場合

市販のブロワーでレンズを2～3回吹き、ブロワー先端のブラシでゴミをはき出します。最後にもう一度、ブロワーでレンズを吹いてください。

● 指紋などがついた場合

ブロワーで汚れが取れないときは、市販のレンズクリーナーを綿棒につけ、レンズの中心から外側に向かって円を描くように拭いてください。
※市販のレンズクリーナーには色々なタイプがあります。症状に応じて適切なクリーナーを選択してください。



①ご注意	<ul style="list-style-type: none">クリーナー液を綿棒につけすぎないようにご注意ください。クリーナー液が本体内部に流れ込むと、故障の原因になります。レンズを拭くときはあまり力を入れず、軽く拭くようにしてください。綿棒を強く押しつけると、レンズにキズがつくことがあります。
-------------	--

困ったときは

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下表で確認してください。それでも症状が改善されない場合はお買い上げの販売店、または弊社お客様サポートセンター(➡裏表紙)までご相談ください。


電源

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない、入ってもすぐ切れる	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが抜けている。 電源プラグが抜けかかっている。 乾電池が消耗している。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 新しい乾電池と交換してください。

FM/AM放送

症状	考えられる原因	対処方法
波のような音が入る	<ul style="list-style-type: none"> FMアンテナの向きを調節していない。 AM放送の場合は本機の向きを調節していない。 テレビや蛍光灯など電気製品の近くで使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> FMアンテナの向きを調節してください。 本機の向きを調節してください。 本機をテレビや蛍光灯などの電気製品から離してください。
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> 周波数がずれている。 電波状態が悪い場所で使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 周波数を正しく合わせてください。 電波状態の良い場所に移動してください。

CD

症状	考えられる原因	対処方法
再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> CDが入っていない。 CDがギズついているか、汚れている。 機械部が結露状態になっている。 一時停止状態になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> CDを確認してください。 CDを交換するか、汚れを取り除いてください。 ディスクを取り出し、1時間ほどそのままにしてください。  ボタンを押してください。
“P0”と表示が出る	<ul style="list-style-type: none"> CDが裏返しに入っている。 CDが入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> CDレーベル面を上側にして入れてください。 CDを確認してください。

困ったときは(つづき)

外部機器

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない	・ 3.5mm ステレオミニプラグケーブルが接続されていない。	・ 3.5mm ステレオミニプラグケーブルを確認してください。
	・ 接続した外部機器の再生がされていない。	・ 外部機器の再生をしてください。
	・ 接続した外部機器の音量が小さいか、音が出ていない。	・ 外部機器の音量を調節してください。

カセットテープ

症状	考えられる原因	対処方法
カセットテープが入らない	・ テープ露出面が下になっている。	・ テープ露出面を上にして入れてください。
テープが回転しない	・ カセットテープが正しく入っていない。	・ カセットテープを正しく入れてください。
テープが機械に巻きつく	・ ピンチローラーやキャプスタンが汚れている。	・ 市販のヘッドクリーナーでピンチローラーやキャプスタンを清掃してください。
	・ テープがゆるんでいる。	・ テープのゆるみを直してください。
早送り・巻戻しが遅い／回転ムラがある	・ テープが傷んでいる。	・ テープの回転具合を確認して、回転の重いものは使用しないでください。
	・ 乾電池が消耗している。	・ 新しい乾電池と交換してください。
再生音が小さい／再生音が割れる／高音が出ない／雑音／音が震える／音が飛ぶ	・ ヘッドが汚れている。	・ 市販のヘッドクリーナーでヘッドを清掃してください。
	・ テープが摩耗している。	・ 新しいカセットテープと交換してください。
録音状態にならない	・ カセットテープの誤消去防止用ツメが折れている。	・ ツメの付いているカセットテープと交換するか、セロハンテープなどでツメの穴をふさいでください。
前に録音されている音が完全に消えない	・ 消去ヘッドが汚れている。	・ 市販のヘッドクリーナーで消去ヘッドを清掃してください。

おもな仕様

品名	CD ラジカセ	
品番	EA-CRCA	
電源	AC100V 50/60Hz DC9V (単 2 形乾電池 6 本) ※乾電池は別売です。	
消費電力	10W	
入力端子	AUX (外部入力) 端子 (Φ 3.5mm)	
出力端子	ヘッドホン端子 (Φ 3.5mm)	
再生可能ディスク	CD	
対応フォーマット	CD-DA	
実用最大出力	1.5W + 1.5W	
スピーカーユニット	直径約 65mm 8Ω × 2個	
受信周波数帯	FM	76.0 ~ 108.0MHz (ワイド FM 対応)
	AM	522 ~ 1629KHz
許容温度範囲	5 ~ 35°C	
電源コード長	約 1.4m	
外形寸法	約 215 (W) × 213 (D) × 123 (H) mm	
質量	約 1.5Kg	
付属品	電源コード、取扱説明書 / 保証書	
製造国	中国	

※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

免責事項

※地震や雷などの自然災害および弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

※本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断など)に関して、弊社は一切責任を負いません。

※取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

※弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤操作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

CD・カセットテープについて

※本製品を使用することによって発生したキズや汚れに関して、弊社は一切責任を負いません。

保証書

品名	CDラジカセ	品番	EA-CRCA
	お名前 様		
お客様	ご住所 〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		
	見本 SAMPLE		
	お電話		
お買い上げ日	20 <input type="text"/> <input type="text"/> 年 <input type="text"/> <input type="text"/> 月 <input type="text"/> <input type="text"/> 日		
保証期間	お買い上げ日から 本体1年間		
販売店	店名		
	住所		
	電話		

保証書 (つづき)

保証規定

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証書に記載の「保証期間」中に故障が発生した場合は、本製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。所定記入欄が空白のままですと、本書は有効になりません。記入の無い場合は直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。

- お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

無料修理規定

- 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、弊社が無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理依頼ができない場合には、取扱説明書に記載してあります弊社お客様サポートセンターにご相談ください。
- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示が無い場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入が無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (ト) 譲渡、転売、中古販売、オークションなどにて入手された場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

※この保証書は本書で明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

- **本製品以外に間接の損害が生じた場合、不具合の原因が本製品であっても補償は致しかねます。**

アフターサービス

- 万一、本体を落したり、破損した場合は、点検修理を依頼してください。(有料)
- 本製品は家庭用です。業務用としては使用しないでください。
- 本製品以外に間接の損害が生じた場合、不具合の原因が本製品であっても補償は致しかねます。

保証書

本製品には保証書が付いています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただいたあと、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。

修理を依頼するとき

保証期間中は

製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に従って無料修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明な場合

アフターサービスについてご不明な場合には、弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

- お問い合わせの際は「製品名」・「品番」・「症状」をご確認のうえ、お伝えください。

製品名	CD ラジカセ	品番	EA-CRCA
-----	---------	----	---------

製品に関するお問い合わせは

株式会社アズマ
お客様サポートセンター フリーダイヤル **0120-00-8984**

受付時間 午前10時～午後5時(土・日・祝祭日および弊社指定休業日を除く)

- ・ 本書に記載された内容の一部または全部を弊社に無断で転載・改変・複写・複製することを禁じます。
- ・ 改良のため、製品の仕様や外観、および本書の内容を予告なく変更することがあります。